

# 競技注意事項

## 1 競技規則について

- (1) 本大会は2014年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会要項、競技注意事項および申し合わせ事項によって行う。
- (2) 競技規則162条6・7により、1回目から不正スタートした競技者を失格とする。ただし、男女四種競技においては、各レースでの不正スタート2回目からの競技者を失格とする。

## 2 競技場の使用について

- (1) ウォームアップ場は補助競技場を原則とする。投てき種目の練習については、定められた場所（補助競技場の投てきピット）でのみ行い、安全については各校各自で十分に注意する。砲丸投は補助競技場の全天候舗装・芝生の部分では使用しない。
- (2) 全天候型グラウンドのため競技者は走高跳12mm以下、それ以外は9mm以下のスパイクを使用する。スパイクの先端が鋭利なものは使用しない。
- (3) 医務員室は、本競技場1階医務室に設置する。AEDはエントランスホールにある。

## 3 招集・点呼について

- (1) プログラムの訂正がある場合は、プログラム巻末綴込みにある「プログラム訂正用紙」に記入し、6日の7:30までに各県監督に提出すること。各県監督は集約し大会総務（大会運営室2）へ提出すること。
- (2) 招集所は、第4ゲート付近通路内に設ける。
- (3) 招集の手順
  - ① 競技者は招集完了時刻の5分前までに招集所に集合し最終点呼を受ける。その際、ナンバーカードとスパイクシューズ、衣類及び競技場内へ持ち込む物品等の確認を受けた後、競技役員の誘導に従って入場する。ただし、棒高跳の招集は棒高跳ピットで行う。
  - ② 招集時刻については、その開始時刻を基準として下記のように定める。

	種 目	招集開始	招集完了
トラック競技	100m 200m 400m 800m 1500m 3000m 100mハドル 110mハドル 4×100mリレー	25分前	20分前
フィールド競技	走高跳 走幅跳 砲丸投	35分前	30分前
	棒高跳	65分前	60分前
四種競技	200m 400m 100mハドル 110mハドル	25分前	20分前
	走高跳 砲丸投	35分前	30分前

- ③ 四種競技出場者は、最初の種目のみ招集所で競技者係の点呼を受けるが、以後の2種目目からは、四種競技待機所（招集所隣）で点呼を受ける。
- (4) 競技への出場をやむを得ず棄権する（混成競技の途中種目の棄権も含む）場合は、招集開始時刻までに、プログラム巻末綴込みにある「棄権届」を競技者係（招集所）に提出すること。
- (5) 競技が遅れた場合でも、プログラム記載時刻通りに招集を完了すること（時間厳守）。招集完了時刻に遅れたものは失格とする。

## 4 競技運営について

- (1) 予選におけるトラック競技の走路順・フィールド競技の試技順は、プログラム記載の左側の番号で表す。
- (2) 計時方法は写真判定（1/100秒）とする。
- (3) トラック競技でプラス2で決勝に進出する場合は、記録で決定する。同組の場合は着順優先とする。同記録者があり写真判定（2/1000着差）でも決められない場合は抽選とする。ただし、同記録者があり9名または9チームの場合には、抽選をせずそのまま決勝をおこなう。また、同記録者があり10名または10チーム以上の場合には、抽選をおこない8名または8チームで決勝をおこなう。
- (4) 短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。リレー競技においては、バトンを渡し終えた競技者は、他競技者への妨害を避けるため、走路が空くまで自分のレーンまたはゾーンにとどまること。

- (5) リレーのオーダー用紙は、予選・決勝とも招集完了時刻の1時間前までに、競技者係(招集所)に提出すること。用紙は招集所において配布をする。
- (6) リレー競技のマーカの使用は1カ所とし、マーカは競技者係(招集所)で準備したものを使用する。ただし、使用したマーカはそのチームで処理をすること。
- (7) フィールド競技の走幅跳・砲丸投は計測ラインを設けず、全記録を測定する。事情(天候その他特別な条件)により変更することもある(四種競技を含む)。
- (8) 四種競技の男子砲丸投は、4.0kgで行う。
- (9) 抗議申し立てについては、各県の総監督を通して、開催県中体連陸上競技部専門委員長に申し立てる。判定に不服がある場合は、正規の抗議申し立てをする。(競技規則146条)

## 5 競技方法

- (1) 男女別学校対抗とする。

①得点は下記のとおりとする。

1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

②同順位を共有する場合は、該当得点を折半する。

(例: 3位が2人いた場合は6点+5点÷2人=5.5点)

③合計得点と同じ場合は、高順位の多い学校を上位とする。

- (2) 走高跳・棒高跳について。

①バーの上げ方は、下記のとおりとする。ただし、事情により変更することがある。

男子	走高跳	(練習1.60) 1.65-1.70-1.75-1.80-1.83 (以後3cm上げ) (練習1.75)
	四種走高跳	(練習1.40) 1.45-1.50-1.55-1.60-1.65-1.70-1.75-1.78(以後3cm上げ) (練習1.60)
	棒高跳	(練習2.80) 3.00-3.20-3.40-3.50 (以後10cm上げ) (練習4.00)
女子	走高跳	(練習1.35) 1.40-1.45-1.50-1.55-1.58 (以後3cm上げ) (練習1.45)
	四種走高跳	(練習1.20) 1.25-1.30-1.35-1.40-1.45-1.50-1.53 (以後3cm上げ) (練習1.35)

②1位決定のためのバーの上げ方は、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

③練習については各ピットで申告し、選択した高さで練習を行う。

④四種競技において、最初の高さを失敗した競技者の得点は0点とする。

## 6 ナンバードについて

- (1) ナンバードは、各県で配布されたものをユニフォームの胸・背部に確実に結着する。ただし、跳躍種目の競技者は、背または胸の片側につけるだけでもよい。
- (2)トラック種目に出場する競技者は、腰ナンバードをランニングパンツ右側の上部やや後方につける。なお、腰ナンバードのナンバーはレーンナンバーとする。
- (3) 腰ナンバードは各県で準備すること。

## 7 用器具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳のポールを除きすべて主催者側が用意したものを使用する。
- (2) 棒高跳のポールは現地で検査を受け、合格したものに限る。

## 8 表彰について

- (1) 学校対抗(団体)は3位まで表彰し賞状を授与する。優勝校には優勝杯を授与する。
- (2) 個人(リレーを含む)は8位まで表彰し賞状を授与する。1位にはメダルを授与する。リレーはエントリー競技者6名にも個人賞状を授与する。
- (3) 各種目の8位までの入賞者は、競技終了後ただちに表彰控え場所に集合すること。ただし、リレーの決勝に出場する競技者には代理人を認める。

## 9 その他

- (1) 競技者は、その競技をする以外は、トラックおよびフィールドに立ち入ることができない。
- (2) テントは、補助競技場の指定された場所(芝生スタンド)のみ設営できる。
- (3) 各校・各県の応援横幕はバックスタンド(Eエリア)及びサイドスタンド(N・Sエリア)の手すりに張ってよい。のぼりについては、応援横幕と同じエリア上段の手すりのみ可とする。ただし、応援横幕やのぼり共に通路や観覧席をふさがないようにすること。